



- 中国A株市場の株価指数である「FTSE 中国A50 インデックス」の円換算値との連動を目指すETF(上場投資信託)です。
- 人民元を活用した新しい投資制度(RQFII = 人民元適格外国機関投資家)を用いたETFであり、日本円で取引をしながら中国株市場への効率的な投資が可能です。JDR形式(外国ETFを信託財産とする受益証券)での上場のため、内国株式と同様にお取引いただけます。(外国証券取引口座の開設は不要です。)

1. 南方 FTSE 中国A株50 ETFの概要
(2017年11月30日 現在)

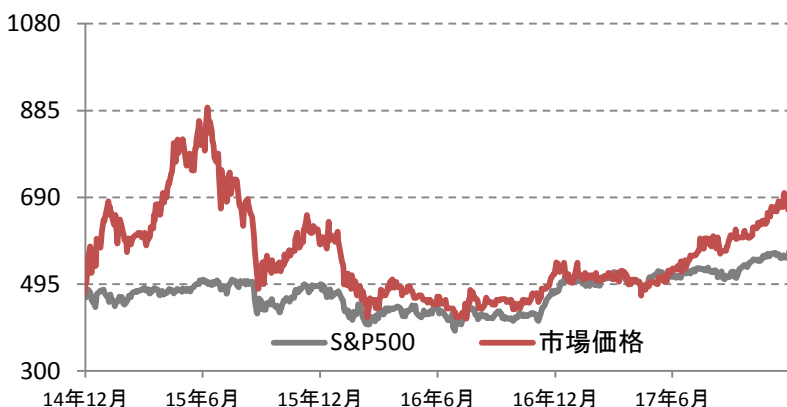
銘柄名	南方 FTSE 中国A株50 ETF		
対象指標	FTSE 中国A50 インデックス		
JDRの計算期間	毎年1月1日～12月31日		
分配金支払基準日	年1回(通常12月予定)		
管理会社	中国南方アセット・マネジメント・リミテッド		
銘柄コード	1576	1口あたり分配金(※2)	0円
売買単位	10口単位	分配金利回り(※3)	0.00%
信託報酬	1.15%	Indicative NAV/PCFの開示(※4)	なし
市場価格(終値)(※1)	663 円	1売買単位あたりの投資金額(※1)	6,630 円

※1 上記の期日において約定がない場合、「市場価格(終値)」及び「1売買単位あたりの投資金額」には、直近時点の市場価格を記載しています。

※2 直近12か月の実績分配金を記載しています。

※3 直近12か月の実績分配金及び作成日の終値をもとに算出した分配金利回りを記載しています。

※4 Indicative NAVとは、PCF情報に現時点の株価を乗じることによって算出されるリアルタイムの推定純資産額(1口あたり)、PCFとは、管理会社よりご提供をいただいたポートフォリオ構成銘柄情報ファイルのことを指します。ここでは東証を通じて開示しているIndicative NAV/PCF情報の有無を記載しています。

2. パフォーマンス
(2017年11月30日 現在)


※ 2014年11月28日 の市場価格を基準値とし、S&P500の値を再換算しています。

■ 騰落率

期間	当銘柄	(参考)S&P500
過去3か月	+9.59%	+9.41%
過去6か月	+26.29%	+11.60%
過去1年	+26.29%	+18.70%
過去3年	+41.06%	+21.37%
過去5年	-	+154.90%

■ 当銘柄のボラティリティ

ボラティリティ(過去30日)	25.6%
ボラティリティ(過去90日)	-

※ 対象期間のうち13%以上の日に売買が成立していない場合、上場後の期間が記載の期間に満たない場合は「-」と表示されます。

対象指標の指数値等 <http://www.ftse.com/products/indices/china>

3. ファンド組入銘柄
(2017年8月30日 現在)

	証券コード	銘柄名	構成比
1	601318	PING AN INSURANCE GROUP CO-A	11.27%
2	600036	CHINA MERCHANTS BANK-A	6.94%
3	601166	INDUSTRIAL BANK CO LTD -A	5.31%
4	600519	KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	4.71%
5	600016	CHINA MINSHENG BANKING-A	4.22%

4. 情報ベンダーコード

情報ベンダー名	ETFコード	対象指標
QUICK	1576/T	XIN9/FTI
Bloomberg	1576 JP Equity	XIN9I INDEX
Thomson Reuters	1576.T	.FTXIN9

5. 対象指標の概要

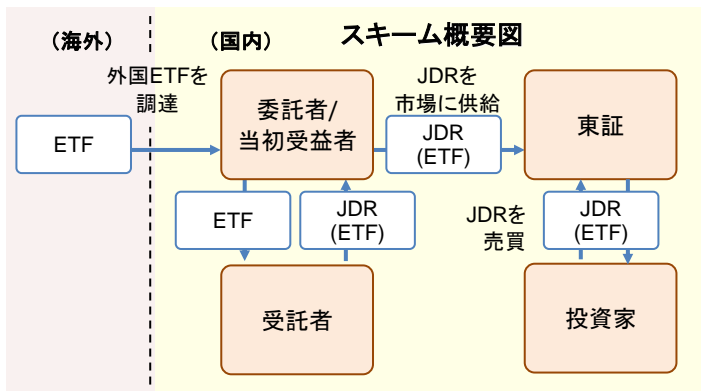
FTSEが算出する指数であり、上海証券取引所及び深セン証券取引所に上場する中国A株のうち、流動性及び浮動株比率の基準を満たす時価総額上位の主要50銘柄で構成されています。2003年7月21日の基準値を5,000として、浮動株比率を考慮した時価総額加重平均により算出されます。

本指数は配当から源泉徴収税を控除した金額を再投資する課税後配当込みの指数となります。

6. RQFII（人民元適格外国機関投資家）とは？

- 中国本土の株式市場は、国内投資家向けのA株市場が99%以上を占めており、海外投資家がA株市場に投資するためには、RQFII制度又は従来のQFII制度（適格外国機関投資家制度）を利用する必要があります。
- RQFII制度は2011年12月に新たに導入された制度であり、認定を受けた香港の資産運用会社が組成する人民元建てファンドを通じ、A株市場を含む中国本土市場に対して、人民元で直接投資することを可能にしたものです（2013年2月現在）。2012年夏にはRQFIIを用いた初めてのETFが香港取引所に上場されました。

7. JDRとは？



- 売買円滑化のためにJDR形式で上場していますが、JDRの権利の内容は、対応する外国ETFと同一です。
 - JDR (Japanese Depositary Receipt) とは、日本型の預託証券のことであり、外国有価証券を受託有価証券として受益証券を発行することにより、内国所有証券にできる手法です。アメリカのADRやヨーロッパのGDRと同様に、外国の株式や債券、ETFなどを日本国内で円滑に流通させるために整備された枠組みです。
- ※ 本スキーム図は概要を示したものです。詳細は有価証券届出書をご参照ください。

8. ETF情報入手一覧

- 各ETFに関するより詳細な商品概要
「中国南方アセット・マネジメント・リミテッド ETF専用ホームページ」 <http://csopasset.com/en/home/index.php>
- ETFの現在値・前日比
<http://www.tse.idmanagedsolutions.com/iopv/table?language=jp&iopv=0>
- 一口あたりの純資産総額、対象指数との乖離率、ファンドの組入銘柄等
(注) 検索される場合には、検索条件に検索コード5ケタの管理会社コード「15764」を入力してください。
「適時開示情報閲覧サービス」 https://www.release.tdnet.info/inbs/I_main_00.html
- ETF株マップ
<http://etf.kabumap.com/servlets/etf/Action?SRC=page/top>

9. 免責事項

- 当資料は、作成時におけるETF/ETNの概要説明のみを目的としており、投資勧誘を目的としているものではなく、また金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ETF/ETNは値動きのある有価証券を投資対象としますので、連動対象である指標及び外国為替相場の変動、組入有価証券の価格の変動、組入有価証券の発行会社の倒産や財務状況等の悪化、その他の市場要因の影響等により、市場取引価格又は基準価額が値下がりし、それにより損失が生じることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではありません。また、信用取引を利用する場合には、差し入れた保証金以上の損失が生ずるおそれがあります。
- ETF/ETNの売買を行われるに際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、販売手数料、信託報酬などの手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますよう、お願い申し上げます。
- 当資料の実績数値は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 当資料は、2017年11月現在の内容です。その以後、制度の改正等により、当資料に掲載した内容が予告なく変更される場合があります。また、この資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。当社は、当資料及び当資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、いかなる目的を問わず、無断複製・転載を禁じます。